

高大連携課題研究発表会 で発表してきました！

次のような高大連携課題研究発表会が、令和元年7月13日(土)、島根大学総合理工学部1号館において開催されました。本校からは、2年生2名が参加して、「ペットボトルロケットについて」の研究発表をしてきました。

主 催	島根大学 総合理工学部 理工特別コース推進室 島根大学大学院 自然科学研究科
共 催	島根県高等学校文化連盟 自然科学専門部 島根県高等学校 理数科教育研究会
開催目的	自然科学系分野の課題研究に取り組んでいる「島根県内の高校生」と「総合理工学部理工特別コースの大学生，自然科学研究科の大学院生」との間で，研究の進捗状況やその成果を発表し，各自が抱える研究課題に関する意見交換および情報収集の機会を設けることで，高校と大学間の連携を強化し，研究・学習意欲の更なる増進を図る。

発表は、総合理工学部理工特別コースの大学生が3人、大学院自然科学研究科の大学院生が1人、高校生は、松江北・松江南・松江東・出雲・浜田高校の計7つの研究を15人が行いました。高校側は、自然科学系部活動と理数科の課題研究の発表で、非常によい刺激を受けました。また特別招待講演として、島根大学の2人の先生方に講演をしていただきました。

本校は以前からペットボトルロケットをより遠くへ飛ばす条件について研究しており、今回はロケットにつける羽はどんな形がよいのかについて研究し、さらに、飛行中に羽が動いたり変形したりすることが飛行距離に影響することを突き止めて発表をしました。

発表後の質疑応答等で今後の研究の方向性についてアドバイスを受けたので、それを11月の高文連自然科学部門の研究発表会に向けて活かしていきたいと思います。

